



静間町の近藤ヶ浜には、日本海岸における自生西限地として島根県の天然記念物の指定を受けているハマナスの群生地があります。

ハマナスは北海道に多く、日本海側では島根県以北、太平洋側では関東以北の海岸の砂地に自生する落葉低木です。5～7月（近藤ヶ浜では5月上旬が見頃）、枝先に紫紅色の花をつけます。浜梨（ハマナシ）と名付けられ、それがなまってハマナスになったといわれています。

近藤ヶ浜のハマナスは年々株が少なくなってきましたが、このハマナスを絶やさないようにと願う地域の皆さんに守られ、花を咲かせています。



ハマナスの花

地元静間町ではハマナス愛護少年団が昭和41年に旧静間中学校生徒により結成され、同中学校の二中統合に伴い、現在では静間小学校児童へ活動が引き継がれています。また、「静間町の名所旧跡を守る会」が竹で砂防柵を作るなど、約30年に渡り保護や育成活動に取り組まれています。今年も地域の皆さんはハマナスの開花を楽しみに待っています。

＝静間町近藤ヶ浜への行き方＝

「静間平口」のバス停がある国道9号交差点から県道静間久手停車場線を300m。交差点を左折し、静間小学校方面へ西進360m。近藤ヶ浜入口（看板あり）から海岸へ150m。

JR大田市駅から車で約15分。

詳しくは、静間まちづくりセンター（☎0854-84-8122）まで

表紙

あの頃～^{さぎす}鷺の巣（昭和15年頃）～

表紙は昭和15年頃の写真です。

鳥井町の木村公治さん（76歳）、大垣弘さん（72歳）にお話しを聞かせていただきました。

鷺の巣は鳥井浦のシンボルでした。小中学生の頃は、ずいぶん鷺の巣の絵を描きました。

港から沖に出る時、入港する時の航路標識として大切な役割をしておりました。鳥井港の沖は一带に暗礁があって、知らない船は通ることができません。鷺の巣と三瓶山がピシッと重なり合うところを用いて暗礁の間を通ります。この航路は通所の間と呼ばれ、船にGPS機能が付いている今でも鷺の巣跡に立っている柱を使って目で確認しています。（木村公治さん）

※暗礁…岩石などにより周囲よりも浅くなっている水域のこと

鷺の巣は頂上に立っている松の木に鷺が巣を作ったことから、鷺の巣と名付けられたと聞いています。船越坂から下る時にも鷺の巣は見えていました。

平成4年9月17日に鷺の巣が大きく崩れて、あの雄姿も大きく変わってしまいました。その日は鳥井小学校の児童が屋外活動で訪れていましたが、子どもた

ちが鷺の巣に登っている時だったら、大惨事を招くところでした。さらに崩れる恐れがあり、気を付けなければならぬと感じたことを覚えています。

翌年3月には、安全のため、高さを低くする工事が始まりました。町民に親しまれてきた鷺の巣の形が変わっていくのを見て、寂しさの様なものを感じました。危険な作業を巧みにこなしておられましたが、変わりゆく様子をビデオにでもおさめておけばと後で思ったりもしました。（大垣弘さん）



現在

今は当時の鷺の巣の高さを表す白い柱が立っています

この情報誌は定住促進を目的に発行しています。

発行 / 大田市役所総務部まちづくり推進課 TEL:0854-82-1600 FAX:0854-82-5885

〒694-0064 島根県大田市大田町大田口1111番地 E-mail: o-matidukuri@iwamigin.jp <http://www.city.ohda.lg.jp/>

“おおだ”の定住サイト「どがどが」 <http://www.teiju-ohda.jp/>

どがどが 検索